

本校におけるインターンシップの取り組みについて

「Y専門学校：1 学年主任」

本校では「鍛え磨く」という校訓のもと、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目的として、全学科の学生を対象にインターンシップをカリキュラムの中に導入しております。

今回のインターンシップでは、Webビジネス学科（1年）、会計ビジネス学科（2年）、国際ホテル・ブライダル学科（1年）、パティシエ学科（1年、2年）の4学科の学生が参加いたしました。

専門学校という特色から学生たちはその専門分野でのプロフェッショナルを目指しており、日々学内では高度な資格試験合格に向けての勉強や、それぞれの専門分野で必要とされる基本技術の習得に励んでおります。



インターンシップ実施の目的はさまざまありますが、そのひとつに日頃学校で学んでいる知識、技術がどう実社会で活かされているかを確認することが挙げられます。

学生たちは、ともすればその知識の習得、技術の向上を目的として日々の学校生活を過ごしがちですが、実はこれは本来の目的ではなく、本来の目的は学校で得た知識、技術をどうお客様に提供していくか、どう社会に貢献していくかの方がなにより重要となります。

しかしこうした仕事の重要性や醍醐味を伝えることは学校現場だけでは不十分であり、これは私たち教員にとっても大変もどかしく、また学生たちにとっても大変もったいないことだと日々感じております。このような理由もありインターンシップはまさに学校での勉強と現場で求められるものを結びつける、非常に重要な機会となっております。

インターンシップの実施につきましては、各学科においてまず事前指導を行っております。事前指導の内容としては社会人としての礼儀マナーの重要性のほか、今回の実習でどういったことを学んでくるかという目標設定を中心に指導をしております。また学生たちが実習に行っている間、教員が必ず1度は実習先を訪問し、学生の様子を視察、そして企業様からご意見を伺う機会を設けております。インターンシップ終了後は報告会を行うことにより、自分たちが感じてきたこと、勉強してきたことなどをクラスの仲間に伝え、これからの勉学や実習の糧としております。

今後も社会に出て必要とされるものと学校での教育がミスマッチとならないよう、本校でも積極的にインターンシップを推進していきたいと思っております。

最後になりましたが、お忙しい中実習生を受け入れていただき、また懇切丁寧にご指導いただきました企業・団体等関係者の皆様、並びにインターンシップにご尽力いただきました山口県インターンシップ推進協議会の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。